三重の梅酒プロジェクト　発足に寄せて

全国的に低調となっていたモータースポーツの中でも、一般の道路を使用するラリー競技は年々参加者も減り、厳しい状況が続く中、三重県では 10 数年ぶりにいなべ福王ラリー 2012 として復活させる事が出来ました。

以後も、三重県、いなべ市さんのご後援と、内外の大変多くの皆様の御支援や応援を得て、早４年目にて、開会式に知事の御臨席を賜るまでに成長致しました。

この間、決して好景気と言い切れる世情ではなかったと思いますが、ラリーに関わってくださる仲間も増え、また、トヨタ自動車が、2017 年の世界ラリー選手権への復帰を決定するなど、ラリーを取り巻く環境は追い風にと変わりました。

この好機を逃さず、私達主催クラブでは、ラリーを少しでも多くの人に知って頂きファンを獲得し、地域振興イベントとして末永く続けて行きたいと思っております。

その為に、「ラリーには、人と地域を繋ぐ力がある」を活動のスローガンとし特に今年は、「三重のラリーで、みんな繋がる」をポスターのタイトルとしました。

現在、私共のクラブには、現役の学生の他、多数の三重大ＯＢ、ＯＧが在籍し競技役員として、あるいは選手として、いなべ福王ラリーで活躍しています。

この梅酒プロジェクトは、ラリー開催準備の為、いなべ市と菰野町、三重大学を行き来する日々の間にヒントに出会い、発案されました。

ラリーで取り持った、人と地域の繋がりを具現化する試みとして、藤田議員さん清水議員さんに御提案させて頂きました所、お二人の御尽力にて多くの皆様の御理解御協力を賜り、本日のプロジェクト始動となりました事を心より感謝、御礼申し上げます。

いなべ市の梅、菰野町のお米、三重大学の知恵と、寒紅梅酒造様の技術で作る梅酒です。プロジェクトの成功は約束されている事と思います。

一方で、この梅酒が広く世間に知られ、長く愛される為には、ラリーと同様に面白いコラボレーションというだけでは無く、強く一貫したテーマ、そして飽きられない為の計画的なプロモーションと終わりの無いストーリーシナリオが必要であると思います。

梅酒の完成までは勿論、完成後の販売から、改良、さらなる販路の拡大までを見越しこのプロジェクトが多くの人を繋ぎ、広がり続けますよう、いなべ福王ラリーの開催を通じて、クラブ員の大学ＯＢ一同、全力で応援して行きたいと思います。

皆様、末永いお力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

ＪＡＦ加盟モータースポーツクラブ　トライアルスタッフオン！　代表　竜田　健